



**【宮本村長】** 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。多くの分野でそれぞれのみなさんから貴重なご提言をいただきました。村にとってはその一つ一つを重要な問題として受け取めて参考にしたいと考えています。

一昨年(2011年)の11月だったと思いますが、北海道新聞にある重要な記事が載ってまして、それをコピーして今も持っているのですが、高齢化社会への対応ということで、胆振管内の白老町で携帯電話を活用して高齢者社会への対応システムを作ったという内容でした。それ以来、いつの日かわが村でもそうしたシステムを作る時期がくるだろうと思っていましたが、昨年の9月にモデル事業的な話があり、村として取り組むための検討をはじめたところです。

研究会のお話を伺っていきましてやはり気になる部分があります。高齢化社会の中でその整備したシステムを本当に使いこなしていけるのだろうかという危惧です。これは今まで役場の中でもさまざまに議論されている内容です。細野先生からは、いや大丈夫ですよとお話がありましたが、現実を考えてみますといま70歳、80歳になってる方が新しいシステムに馴染むことが可能なのか、中に入ることが大丈夫だろうかと思ってしまいます。高野先生の話では、操作性が簡便なこと、手順の単純性などが求められるとのことで、端末そのものをごく簡単な操作で動かせることができれば、何とかなるのかなとも思います。また年代に応じた分野で使用に応じた操作が可能であれば、それは非常に有効ではないかという期待もあります。

戦後の経済復興、経済成長の流れで都市中心の成長の歴史があります。現在、経済成長も縮小し、少子高齢化という経験したことのない社会が動き始めていますが、従来のシステムでは現実に追いつかないとの認識もあり、そうした中で経済が安定化、発展するのは、都市と地方が同時に均衡ある発展なくしては不可能だと思っています。地方の発展を考えると、都市と地方の情報格差は大きな課題です。財源の問題を含めていろいろな課題がありますが、その見通しも立って、先ほどお話しした不安要素も解消できたならば、村としては進めていきたいと思っています。これからも貴重な提言を含めてご指導いただけますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

**【水島】** ありがとうございます。村長さんに締めていただきました。これで総合討論の部を終わります。

**【閉会】 17:00**

**【司会】** 本来であれば共催者を代表して私どもの支社長がみなさまにご挨拶申し上げるところですが、先般の地震で緊急体制を敷いておりまして出席できなくなりました。代わりまして担当部長の丹治からひとこと、ご挨拶申し上げます。



**【丹治】** みなさまお疲れさまです。日本気象協会北海道支社の丹治と申します。本来であれば私どもの支社長の若林がこの会に参加してご挨拶申し上げるところですが、司会者から説明のあ

ったとおり諸般の事情で参加できなくなりました、代わりまして私が共催者を代表してご挨拶させていただきます。

年度末のお忙しい中、また東日本大震災に心を痛め、研究会どころではないという方もいらっしゃると思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。

話題提供の部では、6人の講師の方から、適宜な話題、提言をいただきました。さまざまな話がありましたが、Wi-Fiを基幹としたこのシステムが実現しますと、都市と地方双方向で飛躍的な連携が取れる仕組みになるのかなと感じました。

ネットワークが確立しますと、この地域で新たなビジネスモデルも期待できるかとも思われ、たとえば地元として蛸をネット販売するなど、新たな販路拡大も見込まれるかと思えます。地域から情報発信し、また都市からの発信を受信して双方向でさらなるシステム連携が始まりますと、情報格差の解消など多くの利点が考えられます。総合討論の中で地元のみなさまから示されました疑問、不安等を解消する方法を研究会として模索し、地元に着したネットワーク構成をさらに提言できるものと思っています。

本日、これだけのみなさまが集まって研究会を開催できたことは、大変に意義深いものと受け止め、つぎの開催に向けてさらなる検討を行いたいと思っています。ネットワークが構築され、都市と地方の交流が深まることで、これからの初山別村の発展に結びつくことを祈念しまして共催を代表した挨拶にかえさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

**【司会】** 大変長時間のお付き合いありがとうございました。これをもちまして初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会第一回を終了します。